

海における魚類、貝類、海藻類など水産生物資源の維持増大を中心に据えた水産系試験研究機関です。
 県内の沿岸・沖合の漁業、養殖業の発展を目的に、
 資源評価や増養殖技術開発、技術相談等の活動を行っています。

◎こんな分野に対応しています

- 1 資源量やその動向の評価と管理方法の開発
- 2 効率的な種苗生産技術の開発
- 3 増養殖技術の開発と指導
- 4 海水温や餌生物などの漁場環境調査
- 5 漁業経営に有益な各種情報の提供
- 6 漁業後継者の育成研修の開催
- 7 現場解決型「水産ドクター」制度の実施

●技術相談、共同研究など、お気軽に御相談ください。

◎こんな施設・設備などがあります

- 1 3隻の試験船
(開運丸199ト、青鵬丸65ト、なつどまり19ト)
- 2 陸奥湾海況自動観測装置
(通称ブイロボ)
- 3 魚類飼育施設

photo : 開運丸



◎所在地



〒039-3381 東津軽郡平内町大字茂浦字月泊10
 TEL 017-755-2155 FAX 017-755-2156

◎研究部と主な業務

資源管理部

本県の主要な漁獲対象種について、資源量や資源動向を把握し、持続的に水産資源を利用するための管理方法などについて研究しています。



photo : 試験船青鵬丸による資源調査

漁場環境部

海的环境調査やイカ類の資源調査を行い、解析結果を漁業関係者に情報提供するとともに、ホタテガイが毒化する仕組みについて研究しています。

photo : 貝毒原因プランクトン



ほたて貝部

ホタテガイの安定生産を図るため、増養殖に関する調査研究、技術開発を行うとともに、漁業者に養殖管理などの各種の情報提供を行っています。

photo : ホタテガイの浮遊幼生



資源増殖部

栽培漁業を推進するため、魚類の種苗生産技術開発と放流効果の検討、ナマコやウニ、アワビ、海藻類などの磯根資源の増養殖技術開発について研究しています。



photo : マコガレイの人工授精

